

- 河野常吉, 1889: 雪と農事との関係, 気象集誌, 2, 91-94.
- Landsberg, H. and W.C. Jacobs, 1951: Applied climatology Compendium of Meteorology, 976-992.
- ed., 1981: General climatology 3, Elsevier Sci. Pub. Co., 408 p.
- Mather, J.R., 1974: Climatology fundamentals and applications, McGraw-Hill, 412 p.
- Mihara, Y., and T. Ando, 1974: Background and history of agricultural meteorology in Japan, In. Mihara, Y. ed. Agricultural Meteorology of Japan, Univ. Tokyo Press, 1-10.
- 靱山政子, 1981: 疾病・死亡率の季節変化に関する研究, 天気, 28, 823-833.
- 森田己貴太, 1891: 信濃川洪水の予報, 気象集誌, 1, 19-28.
- 日本農業気象学会, 1955: 水稲冷害の文献的研究, 217 p.
- 奥田 稷, 1982: 日本気象学会100年史, 天気, 29, 307-310.
- 産業気象研究会 編, 1956: 農業災害文献集, 産業気象研究会, 182 p.
- 塩谷正雄, 1979: 強風の性質—構造物の耐風設計に関連して, 開発社, 193 p.
- 市街地風研究会, 1978: 市街地風の研究, オーム社, 184 p.
- 下野信之, 1882: 農芸気象, 気象集誌, 5, 21-26; 6, 17-25.
- 鈴木重行, 1884: 天気と夏季痢病の関係, 気象集誌, 1, 19-22.
- 日本生気象学会編, 1968: 生気象学, 紀伊国屋書店, 998 p.
- 武林貞次郎, 1883: 暑さ寒さも彼岸まで, 気象集誌, 11, 12-17.
- Tüller, 1975: The energy budget of man, Variations with aspect in downtown urban environment, Int. J. Biometeor., 19, 2-13.
- Tromp. S.W., 1976: The twentieth anniversary of the International Society of Biometeorology 1 January 1956-1 January 1976, Int. J. Biometeor., 20, 71-79.
- 和田雄治, 1893: 霜害予防法, 気象集誌, 4, 128-133.
- , 1893: 本年の早越冬, 気象集誌, 9, 370-376.
- 山崎光太郎, 1883: 脚気と雨量, 気象集誌, 10, 8-11.
- Yoshino, M.M., 1974: Agricultural climatology in Japan, In Mihara, Y. ed. Agricultural meteorology of Japan, Univ. Tokyo Press, 11-40.

“日本気象学会創立100周年記念レビュー”編集後記

標記のレビューについては、執筆者の方々はもとより会員各位に大変お世話をおかけしました。振り返って見て、とにかく立派なシリーズとなったと感慨にたえません。

この計画が立てられてから、まず会員の皆様の希望はどこにあるかと思い、アンケートを募集しました（「天気」28巻2号にその結果を報告）。そしてそれを参考に各執筆者を決め、原稿を依頼しました。アンケートの要望が多岐にわたるため、各執筆者はどのように内容をまとめるか大変苦労されたと思います。また予定したテーマのうち総観気象、大気物理・化学（その2）は掲載できなくて残念でしたし、予定した順序通りに必ずしもゆかなかったことはありますが、幅の広い気象学の発展の概観につき、その主要なところをレビューできたと思っています。

編集部として至らぬところは重々反省していますし、この種のレビューはこれだけで終わるのでなく、今後も続くべきことですから、たえず先を見つめて我々は歩みたいものです。どうも皆様有難うございました。

(内田英治)